

【青森県青森市】【青森労働局ハローワーク青森】

青森市とハローワーク青森が連携した就職支援対策

【課題・目的】

高校新卒者に対して、「基本的なマナーの取得ができていない」、「採用しても早期に離職してしまう」等のイメージが求人事業主に浸透しているものの、熱心に地元就職を希望している生徒がいることを市長との座談会でアピールし、求人の確保を図る。

【実施概要】

市長との座談会の取組を契機として、平成22年度から市長・市議会議員・ハローワーク所長の三者連名での経済団体に対する求人拡大要請、基金事業を活用した雇用促進事業（「元気な青森・正規雇用拡大支援事業」）の創設、高校2年生に対する就職支援セミナー等を行った。

【役割分担】

【青森市】

- ◆ 高校生と市長の座談会の運営
- ◆ 企業説明会、面談会の共催
- ◆ 求人拡大要請活動の実施
- ◆ 基金事業を活用した雇用促進事業の実施

【ハローワーク】

- ◆ 高校の進路指導担当者との連絡調整
- ◆ 就職支援セミナーの運営
- ◆ 市の事業の事業主への周知及び求人確保

【効果】

- ◆ 市長との座談会がマスコミに取り上げられ、生徒の地元志向が広く周知されたことから、地元企業に対する求人提出のアピールとなった。（地元紙や地元テレビで放映）
- ◆ 生徒の就職に対する意識や進路指導者の意欲の向上が図られた。



＜青森市コメント＞

若年者の就職促進に向けた取組をハローワークと連携して進めることにより、地域が一体となった質の高い雇用対策を実施できることから、今後も密接に協力し共催事業の取組の充実を図りたい。

＜労働局コメント＞

「最近の若者は」というように若年者に対する逆風が吹く中、少子高齢化の下で地元就職のために精一杯奮闘している生徒の希望を実現するためには、地方自治体が地元企業に働きかけることが重要であり、継続して実施していきたい。